

わずか1時間!!

セントレアから行く鳥取の旅

中部国際空港（セントレア）からの発着便を利用すれば、わずか1時間で行ける鳥取県。老若男女を問わず楽しめる、山陰ならではの観光地の魅力を3回にわたって紹介します。

第1回 鬼太郎（きたろう）発 ↓ 温泉行き

セントレアを飛び立った飛行機が着陸するのは、同県西部に位置する米子空港（境港市）。ただし今春からは、同市出身の漫画家・水木しげるさんの代表作「ゲゲゲの鬼太郎」にちなんだ愛称が誕生しています。その名も「米子鬼太郎空港」。

そうです、鳥取の旅は「鬼太郎」から始まります。米子空港駅（ベトベトさん駅）には妖怪たちをペイントした電車が発着、境港市には「水木しげるロード」なる通りも。1回目はこれらを出発点に、空港からも好アクセスの皆生（かいけ）温泉や、自然豊かな日本最大級の弥生のムラの跡など同県西部に焦点を当てます。

妖怪列車で街へ！ 139体の妖怪が出迎えてくれる!?



鬼太郎と目玉のおやじのブロンズ像がお出迎え



協力/©水木プロ

車両を覆うように、ダイナミックに妖怪たちが描かれている

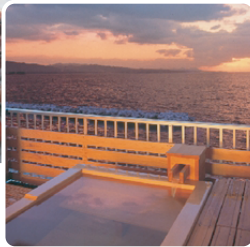
JR境線・米子空港駅からは「妖怪列車」で出発です。鬼太郎や一反木綿などおなじみの妖怪が描かれた列車に乗れば、気分も一気に盛り上がります。黄金色の「ねずみ男列車」も登場しました。境港駅で降り、「水木しげるロード」へ。ここでは、妖怪たちのブロンズ像（139体!!）との記念写真もお忘れなく。

山陰屈指の温泉地・皆生（かいけ）温泉 県の最西端で名湯につかる

「妖怪づくし」の後は、鳥取県の西の端、米子市にある皆生温泉で日ごろの疲れを癒やしては。山陰を代表するこの温泉では、日本海の絶景を眺めながら湯につかる、極上の時間が待っています。「皆、生きる」と書くように、長生きにあやかれるかも!? 合わせて、山海の美味を堪能できるのも山陰ならではの。



日本海の新鮮な海の幸も存分に堪能したいところ



波の音に耳を傾けながら、のんびりつつかってみたい

フライトインフォメーション



便名	名古屋（中部）	米子鬼太郎
ANA1841	14:45	→ 15:45
ANA1842	17:10	← 16:15

問い合わせ

- ・鳥取県名古屋本部（中区栄4・1・1 中ビル4階）電話052・262・5411
- ・鳥取県観光政策課 電話0857・26・7237
- ・鳥取県観光情報 <http://yokoso.pref.tottori.jp/>

■ 上記HPで「米子鬼太郎空港開港記念 鬼太郎カレープレゼント」を実施中!!

国内最大級の弥生遺跡で 古代人の暮らしに思いをはせる



約2000年前の竪穴式住居などもある

米子市から東に行けば、日本最大級の弥生遺跡を見ることが出来ます。それが広さ約170ヘクタールの高地性集落「妻木晩田（むさばんだ）遺跡」。大山のふもとに広がる遺跡から望む雄大な景色は神秘的にして感動的です。

秀峰・大山（だいせん）を背に 圧巻の花景色が広がる



季節の花が色とりどりに咲き誇る

米子市から南へ下った、南部町と伯耆町の2町にまたがっているのが、日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」。名前通り、園内を屋根付展望回廊で結び、その眺めたるや圧巻。五感で大自然を体感しながらの花巡りを楽しんで。